

愛鷹山

割石沢～呼子岳～大岳

山行日:10年3月22日

メンバー:三井(単独)

来週に迫った沢開幕を前に、足慣らしでもしようかとふいに思い立ち、手取り早いところで愛鷹山に向かう。須津川ぞいに車を走らせれば自宅から10Km、30分もかからず登山口の林道のゲートに着く。すぐ先には「大瀬の滝」のキャンプ場があり、その駐車場に車をとめる。

ザックを背に舗装路を30分も歩くと須津山荘。10数人は宿泊可能な無人小屋で、以前所属していた会で何度かバーベキュー会や忘年会に利用したことを思い出す。

大きな堰堤を越えると林道は終点。以前はここまで車で乗り入れる事が出来たのだが...

ここから須津川に沿って歩く。水量は少ないし、河原となっているので溪流タビは不要。何度か渡渉はするが飛び石で渡れるので問題はない、といってもコケのついた石が多いので滑って結局靴を濡らしてしまうのだが...

30分も歩くと「野猿沢」の出会い、木の間越しにF1が見えるが見るからに脆そうな滝だ。(愛鷹山自体非常にもろい岩質の山なのだ。)

愛鷹山は連峰となっていてハイキングの山としてはそれなりに楽しめるが、沢はロクな沢がなく、沢屋には無縁の山なのだがこの野猿沢が唯一、沢登りの対象となる沢でそれも悪溪だ。

10mを越す滝が6本あり、それが何れ

も脆く、ヌメったもので過去、死亡事故も何件か発生している。

僕は以前の会で何度か登っているが02年に中島さんと登ったのが最後になっている。(年報4に記録掲載)

最近はやど登られていないようだ。野猿沢を過ぎ、淡々とすすんで行くと「鋸沢」と「割石沢」の二俣。左俣の割石沢に入ると沢は直に濡れたルンゼ状となる。所々に大きなCSがありルンゼを塞いでいるが、何れも簡単に乗っ越せる。

息を切らせてコルに上がりそのまま一登りで呼子岳。来月あたりからはハイカーで賑わうのだろうが今は誰もいない、駿河湾が良く見える。

昨日の夕食の残りのおはぎを口に入れ、腹の虫を抑えたところで腰を上げる。

大岳に向かうが呼子岳、大岳の間は崩壊箇所があり通行不可とされているが、沢屋には面白いルートになる。山頂から急な斜面を灌木にすがりながら下るとコルにでる。そこから両側がスッパリ切れた稜線となっている。気を引き締め慎重に通過するが大した距離ではないし、適度な緊張感がむしろ楽しい。

大岳の登りになればスズタケの密生した斜面となっていて踏み跡もある。

一頻り登れば大岳の頂上、呼子岳を振り返りつつ通過

あとはガラガラと樹林の中を下って行くと須津山荘の裏に下り着く。

随分久しぶりの愛鷹山だったが中々楽しいルートだったな、と軽い満足感と疲労感を感じつつ林道を下る。